

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2020-99391 (P2020-99391A)
 【公開日】令和 2 年 7 月 2 日 (2020.7.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-026
 【出願番号】特願 2018-237922 (P2018-237922)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 3 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

【手続補正書】
 【提出日】令和 2 年 9 月 8 日 (2020.9.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
前記有利状態に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段と、
前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認
制御手段と、

遊技者にとって有利な第 1 状態と、遊技者にとって不利な第 2 状態とに変化する可変手
段と、

前記有利状態中に前記可変手段を前記第 2 状態から前記第 1 状態に変化させる所定遊技
を複数回実行可能な所定遊技実行手段と、

前記可変手段を前記第 1 状態に変化させる変化期間を計時する可変計時手段と、
所定領域を遊技媒体が通過したことに基づいて、普通識別情報の可変表示を行い表示結
果を導出表示する普通可変表示手段と、

前記普通可変表示手段の表示結果が所定表示結果となったときに、遊技媒体が特定領域
を通過可能な状態となる普通可変手段と、

前記普通可変手段が通過可能な状態となる通過可能期間を計時する普通可変計時手段と
、

特別識別情報の可変表示を行い、可変表示結果を表示可能な特別可変表示手段と、
特別識別情報の可変表示を行う特別可変表示期間を計時する特別可変表示計時手段と、
を備え、

前記変化期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機
への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了す
るまで前記変化期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記変化期間の
計時が再開され、

前記通過可能期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊
技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終
了するまで前記通過可能期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記通
過可能期間の計時が再開され、

前記特別可変表示期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了するまで前記特別可変表示期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記特別可変表示期間の計時が再開され、

前記設定確認状態に制御されているときに前記特別可変表示手段の態様が可変表示結果とは異なる態様とされる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、複数の設定値のうちのいずれかに設定可能であり、設定された設定値にもとづいて遊技者にとって有利な有利状態の制御を実行可能なパチンコ遊技機があった。このようなパチンコ遊技機において、設定値を確認するための設定確認処理では、実行中のメイン処理が全て終了したときにしか次の処理へ移行できなかった（例えば、特許文献1参照）

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献1にあっては、設定確認をすぐに行いたい状況のときに、実行中の全ての処理が終わるまで待たねばならず、好適に設定確認作業を実行することできないという問題がある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような問題点に着目してなされたもので、好適に設定確認作業を実行することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

（A） 本発明に係る遊技機は、前記有利状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御される確率に関する設定値を設定可能な設定手段（例えば、CPU103が設定値変更処理を実行する部分）と、

前記設定手段により設定された設定値を確認可能な設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段（例えば、CPU103が設定値確認処理を実行する部分）と、

遊技者にとって有利な第1状態（例えば、開状態）と、遊技者にとって不利な第2状態（例えば、閉状態）とに変化する可変手段（例えば、特別可変入賞球装置7）と、

前記有利状態中に前記可変手段を前記第2状態から前記第1状態に変化させる所定遊技（例えば、ラウンド）を複数回実行可能な所定遊技実行手段（例えば、CPU103）と

、
前記可変手段を前記第 1 状態に変化させる変化期間を計時する可変計時手段（例えば、
アタッカー開放時間タイマにより計時する CPU 103）と、

所定領域（例えば、通過ゲート 41）を遊技媒体が通過したことに基づいて、普通識別
情報（例えば、普通図柄）の可変表示を行い表示結果を導出表示する普通可変表示手段（
例えば、CPU 103）と、

前記普通可変表示手段の表示結果が所定表示結果となったときに、遊技媒体が特定領域
を通過可能な状態（例えば、開状態）となる普通可変手段（例えば、可変入賞球装置 6B
）と、

前記普通可変手段が通過可能な状態となる通過可能期間を計時する普通可変計時手段（
例えば、電チュー開放時間タイマにより計時する CPU 103）と、

特別識別情報（例えば、特別図柄）の可変表示を行い、可変表示結果を表示可能な特別
可変表示手段（例えば、特図変動時間タイマにより計時する CPU 103）と、

特別識別情報の可変表示を行う特別可変表示期間を計時する特別可変表示計時手段（例
えば、CPU 103）と、を備え、

前記変化期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊技機
への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終了す
るまで前記変化期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記変化期間の
計時が再開され（例えば、CPU 103 は、特別可変入賞球装置 7 が開状態に変化してい
るときに設定確認状態に制御されたことに基づいてアタッカー開放時間タイマの期間の計
時を停止させ、設定確認状態が終了したことに基いてアタッカー開放時間タイマの期間
の計時を再開させる）、

前記通過可能期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後に遊
技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態が終
了するまで前記通過可能期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したときに前記通
過可能期間の計時が再開され（例えば、CPU 103 は、可変入賞球装置 6B が開状態と
なっているときに設定確認状態に制御されたことに基づいて電チュー開放時間タイマの有
効期間の計時を停止させ、設定確認状態が終了したことに基いて電チュー開放時間タイ
マの有効期間の計時を再開させる）、

前記特別可変表示期間が計時されているときに遊技機への電力供給が停止され、その後
に遊技機への電力供給が再開して前記設定確認状態に制御された場合に、該設定確認状態
が終了するまで前記特別可変表示期間の計時が中断され、該設定確認状態が終了したとき
に前記特別可変表示期間の計時が再開され（例えば、CPU 103 は、特別図柄の可変表
示が実行されているときに設定確認状態に制御されたことに基づいて特図変動時間タイマ
の計時を停止させ、設定確認状態が終了したことに基いて特図変動時間タイマの計時を
再開させる）、

前記設定確認状態に制御されているときに前記特別可変表示手段の態様が可変表示結果
とは異なる態様とされる（設定値確認処理において、第 1 特別図柄表示装置 207SG0
04A 及び第 2 特別図柄表示装置 207SG004B を構成する全セグメントの点灯を開
始する）、ことを特徴とする。この特徴によれば、設定確認をすぐに行いたい状況のとき
に、好適に設定確認作業を実行することができる。

（1） 開始条件が成立したことに基いて可変表示を実行し、複数段階の設定値（例
えば、設定値 1～6）のうちいずれの設定値に設定されているかに応じて、遊技者にとっ
て有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御される確率が異なる遊技機（例えば
、パチンコ遊技機 1）であって、

設定値を特定するための設定値情報を記憶する記憶手段（例えば、RAM 102）と、

前記開始条件が成立したことに基いて、前記有利状態に制御することを決定する決定
手段（例えば、CPU 103）と、

前記決定手段が前記有利状態に制御することを決定するための数値データ（例えば、M
R 1）を抽出する数値データ抽出手段（例えば、CPU 103）と、

前記決定手段の決定前に、前記数値データ抽出手段が抽出した数値データ（例えば、MR 1）と、前記記憶手段に記憶された設定値情報に応じて設定される判定値（例えば、当否判定テーブル）と、に基づいて前記有利状態に制御されることを判定する判定手段（例えば、CPU 103）とを備え、

前記判定手段が前記判定をするときに、前記記憶手段に記憶された設定値情報を特定し、該特定された設定値情報に応じて判定値を設定し、

前記開始条件が成立する前に前記有利状態に制御されることを判定するときと、前記開始条件が成立したときに前記有利状態に制御されることを判定するときとで、共通の判定処理を実行する（例えば、図 11 - 1 の 92FS002、図 11 - 2 の 92FS028 において同じ当否判定モジュールを実行する）。